



## 平成29年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年6月2日

上場会社名 ナトコ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4627 URL http://www.natoco.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長・生産企画部長 (氏名) 山本豊 TEL 0561-32-2285  
 四半期報告書提出予定日 平成29年6月14日 配当支払開始予定日 平成29年7月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年10月期第2四半期の連結業績（平成28年11月1日～平成29年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第2四半期	7,505	2.5	651	29.0	714	88.1	456	149.2
28年10月期第2四半期	7,319	0.9	504	14.0	379	△30.4	183	△36.4

(注) 包括利益 29年10月期第2四半期 584百万円 (-%) 28年10月期第2四半期 △45百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年10月期第2四半期	60.48	—
28年10月期第2四半期	24.26	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年10月期第2四半期	21,087	16,477	78.1
28年10月期	20,456	15,998	78.2

(参考) 自己資本 29年10月期第2四半期 16,477百万円 28年10月期 15,998百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	12.00	—	14.00	26.00
29年10月期	—	12.00	—	—	—
29年10月期（予想）	—	—	—	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年10月期の連結業績予想（平成28年11月1日～平成29年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,400	3.7	1,230	3.6	1,250	26.5	800	33.6	106.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年10月期 2 Q	8,144,400株	28年10月期	8,144,400株
② 期末自己株式数	29年10月期 2 Q	600,920株	28年10月期	600,920株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年10月期 2 Q	7,543,480株	28年10月期 2 Q	7,543,480株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては景気拡大の動きが持続し、またアジアでも中国を中心に持ち直しの動きがみられましたが、米国新政権の政策動向や欧州の政治リスクの高まりなど先行きが不透明な状況でありました。

一方わが国経済は、企業業績、雇用環境の改善が進み、個人消費の持ち直しもあり、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発に加え、業務全般の効率化や生産性の向上によるコスト削減に努めるとともに、引き続き販路拡大に向け国内外で営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,505百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益651百万円（前年同期比29.0%増）となりました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、在外連結子会社に対する外貨建貸付金の為替差益の計上により、経常利益714百万円（前年同期比88.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益456百万円（前年同期比149.2%増）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分変更を行っており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「Ⅱ 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載しております。

## ①塗料事業

金属用塗料分野では、ユーザーの環境意識の高まりにより環境対応型製品は堅調であったものの、国内外ユーザーの設備投資やオフィス家具需要が低迷したことで売上高は前年同期並みとなりました。一方外装建材用塗料分野では、大手ユーザーへの出荷量が伸び売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、塗料事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は4,994百万円（前年同期比1.9%増）、セグメント利益は707百万円（前年同期比35.7%増）となりました。

## ②ファインケミカル事業

電子材料向けコーティング剤が堅調に推移したことに加え、情報端末向け製品が新規に採用されたことにより売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は653百万円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益は31百万円（前年同期比194.8%増）となりました。

## ③シンナー事業

一部大手ユーザーで生産拠点の海外移転による受注減があったものの、積極的な営業展開による新規ユーザーの獲得により売上高は前年同期に比べ僅かながら増加いたしました。

その結果、シンナー事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は1,857百万円（前年同期比1.0%増）、セグメント利益は184百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は14,274百万円となり、前連結会計年度末に比べ560百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が145百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が134百万円、電子記録債権が56百万円、有価証券が300百万円、商品及び製品が149百万円増加したことによるものであります。固定資産は6,813百万円となり、前連結会計年度末に比べ70百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が21百万円減少したものの、投資有価証券が93百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は21,087百万円となり、前連結会計年度末に比べ631百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,864百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が75百万円、未払法人税等が83百万円増加したことによるものであります。固定負債は745百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円増加いたしました。これは主に繰延税金負債が30百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,610百万円となり、前連結会計年度末に比べ152百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は16,477百万円となり、前連結会計年度末に比べ479百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を456百万円計上した一方で、配当金の支払105百万円があったこと、その他有価証券評価差額金が66百万円、為替換算調整勘定が58百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.1%(前連結会計年度末は78.2%)となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ138百万円減少し、6,091百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は502百万円(前年同期は776百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益711百万円、減価償却費233百万円による資金の増加と、売上債権の増加186百万円、法人税等の税金の支払177百万円による資金の減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は534百万円(前年同期は285百万円の支出)となりました。これは主に資金運用における定期預金の払戻、有価証券の償還及び信託受益権の売却による収入2,440百万円による資金の増加と有形固定資産の取得による支出145百万円、定期預金の預入、有価証券の取得及び信託受益権の取得による支出2,834百万円による資金の減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は109百万円(前年同期は109百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払105百万円による資金の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月期の連結業績予想につきましては、平成28年12月14日に公表いたしました「平成28年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,498,062	6,352,893
受取手形及び売掛金	4,521,473	4,656,052
電子記録債権	241,816	298,160
有価証券	200,000	500,000
商品及び製品	865,277	1,015,033
仕掛品	33,965	34,352
原材料及び貯蔵品	429,361	480,246
繰延税金資産	107,099	106,582
その他	821,040	835,846
貸倒引当金	△4,664	△4,859
流動資産合計	13,713,432	14,274,309
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,568,561	2,533,681
機械装置及び運搬具(純額)	949,871	940,417
土地	1,737,249	1,737,249
その他(純額)	671,343	694,148
有形固定資産合計	5,927,026	5,905,497
無形固定資産	197,054	193,852
投資その他の資産		
投資有価証券	446,844	539,984
繰延税金資産	23,947	24,039
その他	149,055	150,975
貸倒引当金	△1,208	△1,035
投資その他の資産合計	618,638	713,964
固定資産合計	6,742,719	6,813,315
資産合計	20,456,152	21,087,624
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,584,101	2,659,946
未払法人税等	159,384	242,757
繰延税金負債	430	—
賞与引当金	242,660	221,414
役員賞与引当金	34,630	17,100
その他	723,342	723,390
流動負債合計	3,744,548	3,864,609
固定負債		
繰延税金負債	58,413	88,683
役員退職慰労引当金	281,569	270,196
退職給付に係る負債	191,645	188,455
その他	181,601	198,113
固定負債合計	713,229	745,449
負債合計	4,457,777	4,610,058

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年4月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	11,027,213	11,377,798
自己株式	△516,252	△516,252
株主資本合計	15,453,839	15,804,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177,603	244,111
為替換算調整勘定	398,607	457,443
退職給付に係る調整累計額	△31,675	△28,412
その他の包括利益累計額合計	544,535	673,142
非支配株主持分	—	—
純資産合計	15,998,374	16,477,566
負債純資産合計	20,456,152	21,087,624

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
売上高	7,319,190	7,505,571
売上原価	5,526,955	5,570,297
売上総利益	1,792,234	1,935,273
販売費及び一般管理費	1,287,624	1,284,107
営業利益	504,609	651,165
営業外収益		
受取利息	2,156	1,067
受取配当金	4,548	5,237
貸倒引当金戻入額	1,363	—
為替差益	—	48,995
その他	12,122	13,886
営業外収益合計	20,190	69,186
営業外費用		
支払利息	11	10
売上割引	5,314	5,515
為替差損	135,251	—
その他	4,542	556
営業外費用合計	145,119	6,082
経常利益	379,680	714,269
特別利益		
固定資産売却益	2,291	1,503
投資有価証券売却益	—	772
補助金収入	18,874	6,597
特別利益合計	21,166	8,873
特別損失		
固定資産処分損	5,741	5,325
固定資産圧縮損	18,037	6,340
特別損失合計	23,778	11,666
税金等調整前四半期純利益	377,068	711,476
法人税、住民税及び事業税	169,316	252,306
法人税等調整額	24,715	2,977
法人税等合計	194,031	255,283
四半期純利益	183,036	456,192
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	183,036	456,192



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年11月1日 至 平成29年4月30日)
四半期純利益	183,036	456,192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△24,535	66,508
為替換算調整勘定	△204,532	58,836
退職給付に係る調整額	641	3,262
その他の包括利益合計	△228,426	128,607
四半期包括利益	△45,390	584,800
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,390	584,800
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	377,068	711,476
減価償却費	238,086	233,604
固定資産圧縮損	18,037	6,340
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,193	21
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△11,616	1,477
受取利息及び受取配当金	△6,705	△6,304
支払利息	11	10
固定資産処分損益 (△は益)	4,376	5,321
固定資産売却損益 (△は益)	△927	△1,498
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△772
為替差損益 (△は益)	124,657	△33,763
売上債権の増減額 (△は増加)	553,760	△186,237
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△86,730	△190,762
仕入債務の増減額 (△は減少)	△224,182	75,166
補助金収入	△18,874	△6,597
その他	181,826	65,724
小計	1,146,597	673,207
利息及び配当金の受取額	6,772	6,296
利息の支払額	△4	△3
法人税等の還付額	290	505
法人税等の支払額	△376,958	△177,237
営業活動によるキャッシュ・フロー	776,697	502,768
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△269,654	△134,400
定期預金の払戻による収入	252,801	140,800
有価証券の取得による支出	△600,000	△1,400,000
有価証券の償還による収入	600,000	1,100,000
信託受益権の取得による支出	△800,000	△1,300,000
信託受益権の売却による収入	700,233	1,200,093
有形固定資産の取得による支出	△181,921	△145,018
有形固定資産の売却による収入	5,685	1,646
無形固定資産の取得による支出	△9,961	△2,410
投資有価証券の取得による支出	△877	△888
投資有価証券の売却による収入	—	910
差入保証金の差入による支出	△49	△823
差入保証金の回収による収入	576	1,244
補助金の受取額	18,874	6,597
その他	△1,017	△1,862
投資活動によるキャッシュ・フロー	△285,311	△534,111
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△105,469	△105,537
その他	△4,255	△4,255
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109,724	△109,792
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31,142	2,365
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	350,519	△138,769
現金及び現金同等物の期首残高	6,001,286	6,230,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,351,805	6,091,493

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	4,901,324	578,562	1,839,303	7,319,190	—	7,319,190
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,136	333	108,797	110,267	△110,267	—
計	4,902,461	578,895	1,948,101	7,429,458	△110,267	7,319,190
セグメント利益	521,385	10,799	229,440	761,625	△257,015	504,609

(注) 1. セグメント利益の調整額△257,015千円は、セグメント間取引消去11,661千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△268,677千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	4,994,508	653,167	1,857,895	7,505,571	—	7,505,571
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,480	1,954	113,911	137,345	△137,345	—
計	5,015,988	655,121	1,971,806	7,642,917	△137,345	7,505,571
セグメント利益	707,261	31,841	184,305	923,407	△272,241	651,165

(注) 1. セグメント利益の調整額△272,241千円は、セグメント間取引消去15,693千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△287,935千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「塗料事業」に含めておりました樹脂素材分野を「ファインケミカル事業」に含めるよう変更しております。

これは、当社グループの事業展開、経営管理体制の実態等の観点からセグメントについて再考した結果、取扱製品の特性が類似する「ファインケミカル事業」に含めるのが適切であると判断したことによるものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。